

## JFWインターナショナルファッションフェア

日時 2010年1月13日(水)～15日(金)  
 場所 東京ビックサイト西展示棟  
 主催 織研新聞



国内最大のファッション見本市、JFWインターナショナルファッションフェアがビックサイトで開催された。レディス、メンズウェア、バック、シューズ、アクセサリ、インポートブランドなど750社が出展した。注目は経済産業省と中小基盤整備機構が取り組む「ニッポンモノイチクリエーションスピリッツ」で、50社が出展し、その商品をテレビ通販する試みが、売り上げ5000万前後となった。又モデルを招きランウェイショーを開催したり、スタッフ全員が派手なユニフォームを来て呼びかけを行なうブースや、アーティストによるライブペイントの実地、Tシャツのプリント実演などバリエーション豊かで、会場は大変活気があった。不況だからこそ新たな出会いを期待するバイヤーとそれに答えようとする、出展者のいきごみが感じられた。海外からはバングラデシュが初めて団体で出展した。

記：豊方

## TEXTILE SPIRIT 原点との再会、そして成長 「デザインのプロセス」展

日時 2010年2月4日(木)～6日(土)  
 場所 東京都港区青山 Riin3F  
 主催 中小企業基盤整備機構



日本のテキスタイルの素晴らしさを多くの人に伝えるプロジェクトの紹介がこの展示会だ。まず2009年8月と9月にクリエイションとテキスタイル技術の関係性のセミナーを行ない、2009年10月～12月に公募の中から審査で選ばれた4名が産地に行き指導のもと布を制織し衣服を創作し(ワークショップ)、2009年12月には学生から10名選出し産地見学し、糸から織物までの工程を学び、2010年2月にワークショップの成果(衣服と布ができる迄の過程の紹介)の展示が行なわれた。

日本の繊維産業の活性の為には技術だけでなく、プラス新鮮な感性が必要だ。現状の多くのファッションデザイナーは布をゼロから作る事はできず、値段との折り合いで布を選んでいる。1プラス1は2でなく、3にも4にもなる可能性のお膳立てが、世界に向け発信するための必要条件だが、それを理解してもらうにはもっと多くの人に発信する必要があると思う。

記：豊方

